

## 第40回総代会開催

令和5年5月29日上野原市文化ホールにて、大勢の総代の皆様やご来賓の皆様にご出席を頂き第40回通常総代会を開催することができました。議長は上野原市桐原地区総代の白鳥純雄様が務められ、総代会提出議案は全て可決承認を頂きました。



代表理事組合長 加藤和秀幸 挨拶

令和4年度は、役員改選が行われ新執行部による組合運営がスタートしましたが、事業総収益211,682千円、経常利益23,082千円という大変良い決算となりました。

令和5年度は、全国610森林組合が一斉に系統として取り組むことを決定した『JForest北都留森林組合ビジョン2030』の実現に向け確実な一歩を歩み出す年として各部門事業に取り組んでいきます。

スローガンは以下の3つです。

- (1) 組合員サービスの向上
- (2) 働く人の所得向上
- (3) 事業拡大・効率化による経営の安定

役職員一同精一杯取り組んで参りますので総代、組合員の皆様にはご理解とご支援の程よろしくお願ひします。

## JForest 北都留森林組合ビジョン 2030

Jforestビジョン2030  
QRコード



私たちは10年後に次のような森林組合を目指します。

- ① 管内市町村の信頼を得て地域の森林・林業を担い、先導する中核的な存在となっていること。
- ② 経営感覚を持つ実践的能力理事を配置していること。
- ③ 森林経営プランナー、認定施業プランナー資格を持つ職員がいて主伐再造林による循環型林業を推進していること。
- ④ 森林環境贈与税の用途について、地域の森林・林業が抱える課題解決のための事業提案や組合員との連携を行い市町村から森林環境税事業を受託していること。
- ⑤ スマート林業が実践できる専門集団となっていること。
- ⑥ 職員の所得向上や福利厚生を充実し現場での労働負荷の軽減と無事故・無災害を推進することで地域の有力な就職先となっていること。
- ⑦ コンプライアンスを持った職員の育成に努めていること。
- ⑧ 異業種交流や林福連携に積極的に取り組みSDGsにも合致し地域での知名度や存在感が増して組合員のみならず女性や若年層の関心を引き支持も得ていること。
- ⑨ 全従業員の物心両面の幸福を実現すると共に組合員や地域社会の進歩発展に貢献します。

## 令和4年度 森林整備事業報告

	上野原市 西原地区	小菅村 田元地区
作業道 m	578	3,010
搬出間伐 ha	3	7
搬出材積 m <sup>3</sup>	270	740
切捨間伐 ha	31	13

令和4年度では、上野原市西原地区と小菅村田元地区で集約化施業を行いました。

合計で約1,000m<sup>3</sup>の原木を搬出出来ましたが、住宅の着工件数が減少した影響で木材が下流でだぶついたことにより、原木価格がウッドショック以前よりも低下しております。

この様状況でも利益を出せましたのは、組合員様の森林整備事業へのご理解とご協力のおかげです。

## 農林中金森力基金採択「森林作業道活用による多摩川源流の森再生プロジェクト～新森林業への挑戦～」

令和4年度、当組合は全国から選ばれた先駆的7つのモデル地区のひとつに選ばれ農林中央金庫「森力基金」の採択を受け小菅村田元地区にて森林整備事業を実施しました。

森林作業道は、木材搬出、労働環境の改善、生産性の向上等に寄与するとともに持続可能な林業経営を推進していく上では欠かすことのできない設備です。更に森林サービス産業・観光をはじめ、災害・防災時の人命救助、狩猟等々林業以外での様々な利活用が期待されます。森林作業道は山村の重要インフラ設備です。

当組合がモデル地区に選定されたのは、林業以外の異

業種多業種が連携しながら様々な利用・活用することで林業と地域の活性化に繋がることが期待できる点が評価されました。大変厳しい条件の中での道づくりでしたが、この道を利用し猟師がシカ捕獲に成功や、マウンテンバイクの試乗体験も行われるなど今後の森林作業道の新たな利活用へ向け大変しみな成果も得ることができました。

森林が多くを占める山村振興にとって元気な林業は欠かせません。当組合が元気な林業を推進していくことで山村活性化に貢献できるようにこれからも山村地域を元気にできる新たな挑戦を続けていきます。



完成した作業道(小菅村)田元地区



作業道を利用した鹿猟

## 郡内4森林組合長・参事会議が開催

令和4年11月から12月にかけて計3日間にわたり郡内4森林組合長・参事会議がはじめて開催されました。各森林組合の現状や強み・弱み・機会・脅威を互いに確認し合うことにより更なる連携推進へ一歩を着実に進めることができました。

富士北麓森林組合 大月市森林組合 南都留森林組合 北都留森林組合

桂川流域連携

## 全国から講義・視察依頼が多数



当組合の経営方針や取組、職員の技術力は今や全国に知られる存在となっており、令和4年度は林野庁や学校をはじめ各種団体から講演や視察研修受入依頼が多数ありました。

こうした求めに応じていくことは、世の中の役に立つことであり、当組合が果たすことのできる社会貢献活動のひとつであると考えています。

そして、必ずや当組合員にとっても益することと信じてひとつひとつ誠実に対応しました。

(写真) 森林・林業体験教室



## 桂川相模川流域シンポジウムin上野原が開催



桂川相模原流域シンポジウムの様子

令和4年11月上野原市にて「桂川相模川流域シンポジウム」が開催されました。主催の桂川・相模川流域協議会とは、山梨県と神奈川県を流れる桂川・相模川の流域市町村、事業者、市民が会員となり活動している団体です。

シンポジウム開催趣旨は「流域は大切な財産であり、流域に育つ森林もまた大切な財産です。

その森林の役割や位置づけについて皆で考える」でした。当組合では、午前中に流域から集まった子供たちの森林・林業体験を指導し、午後からモミジホールで開催されたシンポジウムにパネラーとして参加しました。

事例報告では、森林環境贈与税の有効活用として上野原市で実施している子供たちの森林・林業体験教室を紹介しました。

## 令和2年5月「森林組合法の一部を改正する法律」成立

この法律は、森林・林業政策が大きな転換期にある中、森林組合が地域の林業経営の重要な担い手として、その能力を発揮できるよう制度の見直しを行ったものです。以下に3つのポイントを示します。

### 1. 組合間の多様な連携手法の導入

①事業譲渡②吸収分割③新設分割などそれぞれの状況に応じた連携手法の選択が可能になり、組合間の連携が促進されることで経営基盤の強化を図ることなど

### 2. 正組合員資格の拡大

正組合員資格について「同一の世帯に属する者」を「推定相続人」に改めるとともに指定を受けることができる**人数の制限を廃止**することなど

### 3. 事業の執行体制の強化

販売事業を実施する組合に実践的な能力を有する理事を配置することを義務付けること、理事の年齢・性別に偏りが生じないよう配慮すべき旨を規定すること、森林の公益的機能と林業所得の増大に配慮しなければならない旨を明記することなど

## 出資証券の名義確認依頼

北都留森林組合の出資証券の名義の確認をお願いします。組合員の死亡等により相続が生じた場合に出資証券の名義変更届が出ていない方がいらっしゃいます。

亡くなられた方から山林を相続された相続人は、組合出資証券の名義変更の届け出を出して下さい。

出資証券の名義は、組合員の皆様から届出頂かないと勝手に森林組合の方で書き換えすることができません。お手元にある出資証券の名義確認を今一度お願いします。

なお届け出用紙は、組合事務所にございます。詳しくはお気軽に事務所までお問い合わせ下さい。

## 出資証券再発行

お手元に出資証券が見当たらない方がいらっしゃいましたら、再発行をさせていただきます。

手続きは、組合事務所まで印鑑をご持参頂き、必要書類にご記入頂ければその場で再発行させていただきます。

この機にぜひ、ご確認をお願いします。

(お問合せ先)

上野原本所 電話0554(62)3330





## 家まわりの伐採・枝つぼり請負ます



組合員の皆様の家まわりの樹木で伐採や枝つぼりなどお困りのことがありましたら、どうぞ森林組合までお気軽にご相談下さい。

**見積は無料**で作業の相談に伺います。

現地の様子を見させて頂き、必要な費用を積算し見積致します。

神社やお寺など大きな木でもクレーンを使った特殊伐採なども対応いたします。

(お問合せ先)

上野原本所 電話0554(62)3330

## 上野原市林業研究会(代表 山口憲治)のご紹介

「癒される、感動する、健康になる、面白い、元気になれる、素敵な出会いがある、新しい自分を発見できる」といった会員の幸福と、地域社会の進歩発展に貢献できる活動を目指し、35名の会員で取り組んでいます。

活動としては、林地残材の搬出・薪の製造・木工など多様な活動を行っています。

林業研究会に関わる活動が、地域の林業と社会の進歩発展に貢献できるように益々活発に面白く楽しい活動を会員同士で発展させていきたいと思っております。

(上野原市林業研究会 事務局より)

## 上野原情報メディア「めためた」職員インタビュー掲載

no.10 no.11  
は森林組合の力を  
ご紹介します!

子どもの頃見ていた林や山を何十年先の子にも見せてあげたい

▶北都留森林組合 長谷川智大さん

山梨県都留市出身の長谷川さん。高校卒業後、北都留森林組合に就職したことをきっかけに上野原に移住して15年になります。山に囲まれて育ったため、山での仕事に興味があり森林組合への就職を決めたそうです。

仕事内容としては主に春夏は植樹や草刈り、秋冬は伐採や間伐を行っています。はじめは覚えることがばかりで体力的にもきつかったそうですが、今では指導員の資格を取得し、新人や研修生を指導することも増えました。長谷川さんがこの仕事を始めた当初は見て覚える、の世界でした。同じ思いを後輩にはさせたくない、と自分が1年で覚えたことを半年で覚えられるように工夫をしながら指導しています。

都留出身ながら北都留森林組合への就職を決めた理由は、上野原の立地の良さで働く職員の雰囲気の良い点だといいます。

今一番の課題は、山仕事を担う職員の高齢化。「何十年先の子に自分がしてきたように山で木の実を拾ったり、枝を振り回して遊べる環境を残してあげたい。そして、少しでも山の仕事に興味を持つ子が増えるといいなと思っています」と話してくれました。

no.10 no.11  
は森林組合の力を  
ご紹介します!

まだ見ぬ景色を求めて

▶北都留森林組合 寺田一貴さん

埼玉県所沢市出身の寺田さんは現在24歳。大学卒業後、北都留森林組合に就職すると同時に上野原に移住をしました。

小さい頃からキャンプや登山で自然とふれあう中で自然環境に興味を持つようになり、大学では環境について学んでいました。林業の仕事を選んだきっかけは、なんと、電車の中吊り広告。林業系の就職ガイダンスの広告を見たことでした。

実際に林業の仕事始めて、山への見方が変化したそうです。大学で学んだことと現場の仕事で経験したことが重なり、今まで表面的な景色しか見ていなかった山でも、土壌など様々な要素を想像しながら山の内面を見るようになってきました。

大変と言われる林業の仕事。確かに暑かったり寒かったり急斜面だったり、一歩間違えれば滑落してしまうような道を歩いたり。危険と隣り合わせで重労働。それでもやり続ける理由は整備された道からは見られない景色があるからです。



インタビュー動画はYouTubeで  
配信しています!



Youtubeで検索!

めためた



インタビュー動画はYouTubeで  
配信しています!



Youtubeで検索!

めためた



## 令和6年4月採用予定 若手正職員募集のお知らせ

北都留森林組合では、令和6年3月卒業予定の新卒若者をはじめ若手職員(30歳以下)募集をしています。採用条件としては、北都留地域の山を守り、森と共に生きる森林組合の仕事を一生の仕事と考え、長く勤めて頂ける方を募集しております。

就業希望者は、履歴書を森林組合まで送付ください。随時、個人面談をさせていただきます。就業条件等、詳細についてはお近くのハローワークまでご確認ください。

北都留森林組合HPからもご確認ください。また、直接、メールもしくは電話でお問合せを頂いても結構です。インターンシップや見学の希望も遠慮なくご相談下さい。個別に対応させていただきます。

【採用問合せ先】北都留森林組合 電話：0554-62-3330 e-mail：kitaturu@aria.ocn.ne.jp

## 令和5年5月 若手職員入職！！

### 横瀬 泰士

Yokose Taishi  
森林整備課 技師

私は生まれてから25年間上野原で過ごしてきました。この25年間上野原を出て他の場所に住みたいと思った事は一度もありません。なぜだろうと考えたときに、上野原の自然豊かなところや水が綺麗なところが好きだからということに気がきました。上野原の魅力である、自然を守るこの仕事が自分にピッタリだと思い就職しました。

この職種は初めてだったので正直やっていけるか不安だったのですが、先輩たちが優しく丁寧に教えてくれるので、少しずつですが仕事を覚えることが出来ていると思います。

この仕事を始めてから、自然環境を守るのは楽ではないことがわかりました。山に入って仕事をするので、山を登ったり下りたりするので体力が必要なのはもちろんですが、時には急斜面を歩いたり崖付近を歩くので慎重に仕事をしなければなりません。しかし、自然と触れ合うことができるこの職業はとても魅力的でやりがいのあるものだと思います。



## 森林作業道作設動画 「森林作業道の施工事例とその活用例」掲載予定

### 森林作業道の 作業事例と その活用例



**JForest**  
北都留森林組合



動画サムネイル

初めて道づくりに挑戦した当組合若手職員が、ベテラン職員から教わり一步一步学んできた道づくりの知識や技術、その手順について実際の現場作業をひとつひとつ動画撮影しまとめたものです。制作しました。

この動画は、これから新たに車両用森林作業道作設に挑戦する方々の入門的な資料として多くの方々に活用していただくのを目的に制作したものです。

これまでのような冊子による説明や解説では分かりにくい部分を動画化することで、「崩れない作業道」の技術普及を目指します。

北都留森林組合  
公式ホームページ



北都留森林組合  
YouTubeチャンネル

